

2026年2月度 フリーランスエンジニア月額平均単価79.9万円 職種別では「VPOE」の平均単価が2カ月連続上昇

エン運営『フリーランススタート』定点調査レポート

エン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：越智通勝）が運営するフリーランスエンジニア向け案件検索エンジン『フリーランススタート』（<https://freelance-start.com/>）では、サイトに掲載されたすべての求人の情報を集計し、分析を行なっています。2026年2月度の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

調査結果 概要

- 2026年2月のフリーランス案件の月額平均単価は79.9万円。
- 2026年2月末時点での掲載案件数は437,547件。最高単価は320万円。
- 職種別では「VPOE」の平均単価が2カ月連続上昇。
開発言語別では「Rust」の平均単価が再び上昇。

解説

2026年2月のフリーランスエンジニアの報酬相場に関する調査を実施しました。調査結果では2月度のフリーランス案件の月額平均単価は79.9万円、2026年2月末時点での掲載案件数は437,547件でした。また、職種別の最高単価は「VPOE」で320万円でした。

職種別では、「VPOE」の平均単価が2カ月連続で上昇し、98.1万円（+1.5万円/1.6%増）となりました。企業のDX推進が進む中、技術組織を横断的にリードできる人材への評価が高まっていると考えられます。

開発言語別では、2025年12月度に一度平均単価が下落していた「Rust」が、2月度には91.1万円（+0.6万円/0.7%増）と、再び上昇しました。高いパフォーマンスと安全性が求められる領域での活用が広がり、安定した需要につながっていることがうかがえます。

常駐案件とリモート案件のトレンドは、リモート案件の掲載比率が42.3%で、常駐案件との報酬額の差は「4.4万円（常駐：77.7万円、リモート：82.1万円）」でリモート案件が高い結果となりました。

引き続き、フリーランスエンジニアの案件獲得支援サイトとして、報酬相場情報を分析してまいります。

（『フリーランススタート』事業責任者 相場 敏行）



調査結果 詳細

■職種別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_職種別の月額平均単価_2026年2月

単位（万円）

順位	先月順位	職種	平均単価	先月比増減額	先月比増減率	
1	→	1	コンサルタント	104.0	0.6	0.6%
2	→	2	VPoE	98.1	1.5	1.6%
3	→	3	AIエンジニア(人工知能)	95.1	0.9	1.0%
4	↑	5	PdM(プロダクトマネージャー)	93.9	1.1	1.2%
5	↓	4	SRE	93.6	0.7	0.8%
6	↑	8	PM(プロジェクトマネージャー)	91.6	2.4	2.7%
7	↓	6	CRE(Customer Reliability Engineer)	90.9	±0	0.0%
8	↓	7	ブロックチェーンエンジニア	90.4	0.5	0.6%
9	↑	10	エンジニアリングマネージャー	90.3	2.9	3.3%
10	↓	9	機械学習エンジニア	89.5	1.1	1.2%
11	→	11	データサイエンティスト	89.1	2.7	3.1%
12	↑	14	PMO	86.8	6.1	7.6%
13	↓	12	セキュリティエンジニア	86.1	0.5	0.6%
14	↓	13	バックエンドエンジニア	81.4	0.3	0.4%
15	→	15	クラウドエンジニア	81.3	2.4	3.0%

職種別の月額平均単価（上位15位）を見ると、2位の「VPoE」は、平均単価が2ヵ月連続で上昇し、98.1万円（+1.5万円/1.6%増）となりました。技術力と高度なマネジメント能力、さらに経営的視点を兼ね備えた「VPoE」人材はフリーランス市場において、希少価値が高い状態であることから、企業は高い報酬を提示してでも確保したいという意向があると推測されます。

また、4位の「PdM（プロダクトマネージャー）」は、93.9万円（+1.1万円/1.2%増）と、平均単価が6ヵ月連続で上昇しています。プロダクトを軸とした事業成長の重要性が増す中、その司令塔となる専門職への需要の高まりと人材の希少性が、継続的な単価上昇に繋がっていると推測されます。

2026年1月度のレポートは、[こちら](#)をご参照ください。

■開発言語別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_開発言語別の月額平均単価_2026年2月

単位（万円）

順位	先月順位	開発言語	平均単価	先月比増減額	先月比増減率	
1	↑	2	Rust	91.1	0.6	0.7%
2	↓	1	Go言語	90.9	0.3	0.3%
3	↑	4	Ruby	88.1	2.0	2.3%
4	↓	3	TypeScript	87.9	0.8	0.9%
5	→	5	Python	86.3	2.3	2.7%
6	→	6	Kotlin	85.9	2.0	2.4%
7	→	7	JavaScript	82.5	1.2	1.5%
8	→	8	Swift	82.4	2.9	3.6%
9	↑	10	SQL	74.7	4.1	5.8%
10	↓	9	PHP	74.2	0.4	0.5%
11	→	11	Java	71.1	1.7	2.4%
12	→	12	C#.NET	70.5	1.3	1.9%
13	→	13	C++	69.4	1.6	2.4%
14	→	14	C#	66.4	0.9	1.4%
15	→	15	C言語	65.3	3.2	5.2%

開発言語別の月額平均単価（上位15位）を見ると、1位の「Rust」が順位を上げ、平均単価91.1万円となりました（+0.6万円/0.7%増）。Rustは対応可能なエンジニアが限られることもあり、市場における希少性の高さが単価に反映されていると考えられます。

また、Webアプリケーション開発で根強い人気を誇る「Ruby」は、平均単価88.1万円で3位となり、先月から一つ順位を上げました（+2.0万円/2.3%増）。その生産性の高さから、安定した高い需要を維持していることがうかがえます。

■ フレームワーク別の月額平均単価（上位15位）

フリーランススタート_フレームワーク別の月額平均単価_2026年2月

単位（万円）

順位	先月順位	フレームワーク	平均単価	先月比増減額	先月比増減率
1	→	Next.js	91.1	0.6	0.7%
2	→	Ruby on Rails	88.1	1.5	1.7%
3	→	React	85.2	0.4	0.5%
4	↑	Django	84.4	3.3	4.1%
5	↓	Flutter	83.2	1.0	1.2%
6	↑	AngularJS	79.9	2.2	2.8%
7	↓	Nuxt.js	79.5	0.7	0.9%
8	↓	Node.js	78.9	0.8	1.0%
9	→	Vue.js	77.8	1.0	1.3%
10	↑	Struts	76.1	9.0	13.4%
11	→	Laravel	75.3	1.1	1.5%
12	↑	Spring	74.3	2.0	2.8%
13	↓	Unity	74.2	-1.9	-2.5%
14	↓	CakePHP	73.2	0.6	0.8%
15	↓	SpringBoot	73.0	1.0	1.4%

フレームワーク別の月額平均単価（上位15位）を見ると、上位3位は6か月連続で順位に変動がなく、安定した高い需要が維持されていることがうかがえます。この背景には、モダンなフロントエンド開発を牽引する技術や、生産性の高いバックエンド技術が、それぞれの領域で中心的な存在として定着しているためと考えられます。その結果、エンジニアには各領域に特化した専門性が、より一層求められるようになってきていると推測されます。

フリーランスエンジニア向け案件検索エンジン『フリーランススタート』



2018年よりサービス展開。日本で最も多くのフリーランスエンジニア向け案件が掲載されている、国内最大級の案件検索エンジンです。

フリーランスエンジニア向けの案件情報を、開発言語や単価、勤務地、案件の特徴など細かい希望条件をもとに横断検索。応募までワンストップで完結できます。さらに、案件を紹介するエージェントのクチコミ・評判も確認可能。最も自分にマッチする案件探しを支援します。

<https://freelance-start.com/>

本ニュースリリースに関する
お問い合わせ先

エン株式会社 広報担当

<https://corp.en-japan.com/>

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com